

えひめの自然公園利用マナー

ゴミは必ず持ち帰りましょう

空き缶、ペットボトル、ビニール袋、ティッシュペーパーなどを捨てると、いつまでも景観を損ねます。食べ残しも捨てないで！野生動物に悪影響を与える場合があります。

達人へのヒント

- ゴミになるようなものは、持ち込まない。
- 持ち帰るためのゴミ袋を忘れない。
- ゴミ箱があっても、できるだけ捨てない。
- 落ちているゴミも拾って帰る。

ここにも注意

- 海や川にゴミを捨てない。
- 釣り糸、釣り針は持ち帰る。



ハクサンシャクナゲ

動植物、岩石・鉱物をとらない

「植物を採る」「樹木を伐採する」「岩石や鉱物を採る」「鳥獣を獲る」などの行為は法律・条例で原則禁止されています。



タカネオトギリ

達人へのヒント

- 希少な植物は、地域を定め、法律、条例により採取が禁止されています。
- また、採取を禁止されていない植物も、生態系の一部であり、自然景観の一部ですので、採取したり、枝を折ることは慎んでください。
- 花や風景を写真に撮るときも、注意が必要です。被写体でない植物も踏み荒らさないよう周囲に気を配りましょう。
- 道のないところに入っていくと植物を踏み荒らすうえ、新しい道をつくってしまいます。

登山・遊歩道を歩きましょう

登山道・遊歩道以外の場所には、できるだけ踏み入らないようにしましょう。道はずれて歩くと、道に迷ったり、気づかぬうちに植物を踏み荒らしてしまいます。

達人へのヒント

- 登山道は、狭いところもあります。お互いに譲りあいましょう。
- 気持ちよくあいさつを交わしましょう。

自然公園指導員・自然保護指導員が巡視しています

自然公園では、腕章を付けた自然公園指導員（環境省委嘱）や自然保護指導員（愛媛県委嘱）がお声をかけさせていただく場合があります。誰もが、気持ちよく利用できるようマナーを守りましょう。



イシツチザクラ

地域外の動植物を持ち込まない

山岳部でも、登山道にはオオバコなど本来そこに自生しないものが目立ちます。種子が靴などについて、人が運んでいるのです。

外国産のカブトムシやクワガタムシが野外で見つかるケースも増えています。

地域固有の種を守ることが、生物多様性の保全には大切です。

達人へのヒント

- アライグマ、オオクチバス（ブラックバス）、外国原産のクワガタムシなどは法令等で野外に放つことが禁止されています。
- 種子を運ばないよう家を出る前に靴底を洗いましょう。

ここにも注意

- キャンプは指定された場所で行う。
- 大きな音を出さない。野生動物のためにも、他の公園利用者のためにも静かな環境を守りましょう。

ペット同伴は避けましょう

最近、自然公園にペットを連れて来られる方が増えています。

それとともに、「フン害」の訴えも寄せられています。

法的に、犬などのペットを自然公園内に連れてくることは、禁止されていませんが、ペット同伴は避けましょう。

少なくとも糞は放置せず、持ち帰ってください。リードを離さないようにしましょう。

達人へのヒント

- ペットと野生動物相互の糞や毛による感染症や、ペットへのダニ、ヒル、寄生虫の被害が心配されます。ペットの同伴は、できるだけ控えましょう。

ここにも注意

- タバコを捨てない。たき火をしない。山火事は、取り返しがつきません。



トイレのマナー

トイレは事前に済ませましょう

自然公園には、十分なトイレ設備がないところもあります。山岳部など電気や道路が整備されていない地域もあるため、清潔で快適なトイレは多くありません。

前もってトイレの位置を確認して、早めに済ませておきましょう。

がまんできず、隠れて用を足す方もいらっしゃいますが、し尿が水場や溪流を汚すおそれがあります。

また、どうしてもという際にも、ティッシュは、水に溶けないものが多いので、使用後は捨てずに持ち帰ってください。



コオニユリ



携帯トイレを準備しましょう

トイレがない場所で、トイレに行きたくなったとき、たいへん困ります。そんな時に、用意しておきたい

ものが、携帯トイレです。持っているだけでも安心です。防災グッズとしても役立ちます。

携帯トイレは、アウトドアショップなどで購入できます。

使ってみると意外と快適という声も



携帯トイレの使い方

- 1 取り出して広げる
- 2 折りたたみ便器にかぶせるか、そのまま置く
- 3 使用後、空気を抜いて口を縛る
- 4 密閉袋に入れる
- 5 リュックに入れても大丈夫!!
- 6 自治体のゴミ収集方式に従って処分

登山のルール

登山は自己責任で

自然公園内の登山道・遊歩道には、危険な箇所もあります。

落石などのほか、足を滑らしたり、転んだりすることもありますので、十分注意してください。

登山・散策に適した服装、装備をして、自分の身は自分で守りましょう。



達人へのヒント

- 経験者のアドバイスを受けましょう。
- 標識ばかりに頼らず、自分で地図が読めるようになります。



ユキワリソウ

登山の心得7か条

最近、道路事情がよくなり、気軽に高い山への登山ができるようになりました。

反面、軽装の登山者も見られるようになり、天気の急変などによる事故も心配されます。

登山の心得

- 1 無理のない計画で、余裕のある登山をしましょう。早立ち、早着きが基本です。
- 2 天候、体調など状況の急変時には、撤退を含めて冷静な判断をしましょう。
- 3 防寒具・雨具・非常食の備えをしましょう。
- 4 事故の多くは下山中に発生しています。下山に特に注意しましょう。
- 5 単独登山は自粛しましょう。
- 6 山岳保険に加入しましょう。
- 7 登山計画書を提出しましょう。

